

家庭での食品ロス削減セミナー

事業実施主体:平取町(北海道)

- 平取町では、共働き世帯の増加や、食料の生産現場に携わる者の減少、多世代との共食の場の減少等による、「残さず食べる」、「もったいない」などの精神、食への理解や感謝の気持ちを深める機会の減少が課題である。
- 町の食育推進事業として、「残さず食べる」などの食を大切にする心や食への感謝の気持ちを育むための、共食の場の提供、食品ロスの削減などの取り組みを重点取組として実施している。
- 町の調査によると、食品ロスの削減に取り組んでいる者の割合は70.0%であり、国の定める目標値を達成するためには、町民の食品ロス削減の取組の機運をさらに高めることが必要であることから、新たに家庭で取り組むための具体的な工夫や方法を学ぶためのセミナーを開催した。



【取組の内容】

○ セミナーの開催

野菜ソムリエ上級プロを講師に招き、季節によっては家庭菜園でたくさん穫れるなどして、余ってしまいがちな野菜を上手に冷凍保存する方法や、美味しくいただくための方法を学ぶセミナーを開催。



和気あいあいとした講義の様子



メモを取り真剣に聞く参加者

○ 調理実習の実施

冷凍野菜を活用したレシピの調理実習を実施。



調理実習で冷凍野菜の便利さを実感



冷凍きのこや
冷凍トマトを使つた献立

【取組の成果】

○ セミナー及び調理実習を通じて、参加者が、廃棄されやすい食品の傾向や、食材の保存・活用方法、野菜を冷凍することによる新たな効果などを学ぶことができ、改めて食品の無駄を減らす工夫の意識が高まった。

また、調理実習を行うことで、冷凍野菜を家庭でも容易に活用できるということがわかり、家庭での実践につながった。

【事業の目標】

① 食品ロスの削減のために何らかの行動をしている国民を増やす。

事業実施前 70.0%

→事業実施後 97.8%

② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす。

事業実施前 69.8%

→事業実施後 86.2%

